

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・「学習・生活・運動習慣」向上運動展開中
- ・あつまPRプロジェクト
- ・放課後児童クラブ訪問
- ・第2回「子ども教育委員会」開催のお知らせ
- ・学校プール利用のお知らせ
- ・5月定例教育委員会
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

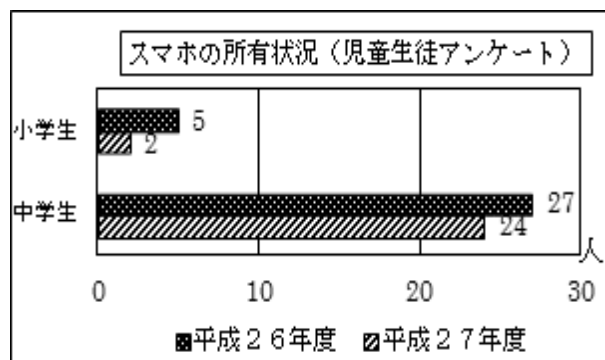
みんなで育てよう 厚真の子ども

—厚真町児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動展開中！—

～第1・第3日曜日はノーゲームデー～

昨年度の調査から、厚真町の子どもたちの携帯電話・スマートフォンの所持率は全国の子どもの所持率よりも低いことが明らかになっています。小・中学生ともに全国平均に比べ約15%の差が生じています。これらは向上活動の啓発により家庭や児童生徒の意識化が一定程度進んでいることを示すものと考えられます。

画面のなかの世界ではなく、目の前に広がる現実の世界を子どもたちにきちんと見せる。それも大人ができる子どもへの愛情です。夏を目前に控えた今、学習・生活習慣の定着と共に、メディアに向ける目をふと外に向けることを大人も子どもも意識してみてはいかがでしょうか。家庭・地域をあげて、この取組にご協力をお願いします。



町内においても、1年間でスマホを所有する児童生徒の数に変化が見られました。

ことば靴いで厚真のよさをたくさん紹介（あつまPRプロジェクト）

6月9日、10日の2日間、それぞれ厚南中学校、厚真中学校で、コミュニケーション科の授業「あつまPRプロジェクト」が実施されました。あつまPRプロジェクト（APR：あつまPRProject）は、厚真町が進めている「英語を使える児童・生徒の育成～厚真町 夢のある英語教育」の取組の大きな柱で、本町が平成27年度から実施しているコミュニケーション科の授業の要の一つです。

生徒は、近隣の市や町から参加した英語指導助手に普段の授業で学んだ英語を生かして、厚真町のよさ（「百年記念公園とホテル」、「厚真町まちなか交流館～しゃべーる～」等）を巧みに紹介したり、質問に答えたり、楽しく対話をしていました。



☎ あつまる君も紹介されました。
📱 学校に整備されたタブレット、手作りの資料等も活用



【特集】のぞいてみました！放課後児童クラブ

＜放課後児童クラブの今＞

1年生～6年生の児童を対象に、放課後や学校休業日等に、家庭に代わり遊びや体験学習、体力づくりを提供しています。年間の行事では、夏まつり、クリスマス会、豆まき、ひな祭等があります。

体験学習も料理教室など多く取り入れ、仲間と共に豊かな生活を創ることを通じ、児童の健全な育成を図っています。

また、日常は下校してからおやつを食べ、毎日必ず机に向かい、勉強が習慣化するように援助しています。厚真放課後児童クラブでは4月には、元気いっぱいの新1年生22名が仲間入りしました。

おひさまクラブ(1～3年生)65名、あおぞらクラブ(4～6年生)53名でのスタートになりました。上厚真放課後児童クラブのにじいろクラブでは新1年生11名を含め55名でのスタートとなりました。

＜厚真放課後児童クラブ＞



おやつ後は体育館で〇×クイズです。最後に残ったペアに「ラQ」の特別券がプレゼントされました。

こども園つみきの北園庭で砂遊びを楽しみました。砂遊びは学年の枠を超えて小さい子も大きい子も楽しく遊んでしました。

築山での段ボール滑りです。カッコいい「草滑りボーダー」の登場で～す。子ども達に人気の複合遊具です。遊具を利用した「鬼ごっこ」が、最近の流行の遊びです。

＜上厚真放課後児童クラブ＞



「宿題・自習時間」では、真剣に頑張る子が増えてきましたよ。

「おやつ」の時間では、セルフサービスの列ができます。「今日はどんなお菓子かな～」笑顔一杯で楽しく「いただきますま～す。」

子ども達が好きな遊びをしている時の「集中力」には、驚かされます。

避難訓練(地震想定)

5月30日地震を想定して避難訓練が行われました。安全に京町公園の築山まで避難しました。「地震だ！ テーブルの下に隠れよう！」

「1年生歓迎会」「4・5月の誕生会」

「1年生の歓迎会」一人ずつ自己紹介と好きな色を発表しました。新1年生を迎え、はじめての「誕生会」です。3年生の司会でした。「緊張しながらも、とても上手にできました。」



第2回「子ども教育委員会」開催のお知らせ

教育委員会では、児童生徒の「学習・生活・運動習慣」向上運動の取り組みの一つとして、昨年に引き続き、各小中学校の児童会及び生徒会の役員が一堂に集い、厚真町「子ども教育委員会」を開催します。今年度は、電子メディアの利用について意見交換を行い、アウトメディア宣言を行います。

町民及び教育に関心のある方でしたら、どなたでも傍聴できますので、どうぞご来場ください。

日時 7月25日(月)10:00~12:00
会場 総合ケアセンターゆくり 2階 介護学習室
参加者 小学校児童会役員、中学校生徒会役員



5月定例教育委員会

5月27日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

議会総務文教常任委員会所管事務調査、英語教育推進委員会について、学力向上推進委員会について、埋蔵文化財発掘事業作業員辞令交付、放課後児童クラブの現状について(5件)

◆議案

厚真町学校運営協議会設立準備委員会要綱の制定について(1件)

◆その他

北海道市町村教育委員会研修会の開催について(1件)

★問合せ 教育委員会 学校教育グループ

TEL27-2494

編集担当より

田舎まつりが終わると、日に日に夏のおいさが強くなっていくような気がします。空の青さや木々の緑の鮮やかさにちょっぴり気持ちも高まりますね。昼間の世界の色の鮮やかさと対照的に、夏の夜空もまた落ち着いた輝きを放っています。夜空を見上げてほっと一息、そんな時間をとってみるのもおすすめです。青少年センターでも月に一度、プラネタリウムで厚真の夜空を上映していますよ！(K)

ノコひき体験・ノコ研ぎ教室

厚真町の開拓を支えてきた数々のノコギリ！
沢山ある実際に使われた本物のノコギリで丸太を切ったり、ノコ研ぎ(目立て)の職人技、失われつつある山の技にぜひ触れてみませんか！

日時 7月3日(日) 午前10時~正午
場所 本郷整理事務所集合→

軽舞事務所へ移動(10時20分着)

講師 日野 修 さん
(厚真町共栄)

参加費 無料



学校プール利用のお知らせ

今年も次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。

お気軽にご利用ください。

期間 7月11日【月】~9月1日【木】
ただし、8月14日【日】~16日【火】
は水の入替えや水質検査のため閉鎖します。

時間 平日 14時~17時
土日祝日夏休み 10時~17時
(12時から13時まで昼休み)

問合せ 教育委員会学校教育グループ
TEL 27-2494



図書室だより

青少年センター図書室
TEL 27-2495 (平日)



120年前の厚真はどんな町？



今年は厚真町が、明治30年に苫小牧外六カ村戸長役場から分離独立して以来、120年になる年です。町では9月に記念式典を行います。

120年間の厚真町の歴史、またはそれ以前厚真町はどんな所だったのかを調べるための資料として、郷土資料があります。厚真村が厚真町になったのはいつかを調べる際には「厚真町史」を使います。シヨロマ遺跡で発掘された文化財について調べたいときは「厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」という資料があります。ハスカップと厚真町の関係は厚真町ハスカップブランド化推進協議会で作成した「日本一のハスカップのまち 厚真町」で知ることができます。インターネットでも手軽に調べることはできますが、その際には、どこ・だれ発信の情報なのかを注意しましょう。

図書室では、厚真町に関係する資料を積極的に収集しています。例えば、「厚真村開村30周年記念写真帖」「厚真村史」「厚真町史」といった厚真の歴史を詳細に記録した資料や、小学校・中学校の記念誌、各自治会の記念誌、アイヌ文化との関連書などがあります。また、厚真の郷土芸能や移住ガイドといった映像作品、サークルの同人誌も厚真を知るための貴重な郷土資料として収集しています。

これらは紛失してしまうと手に入らない貴重な資料のため、禁帯出（図書室の外に持ち出せない）扱いが多いのですが、自由に手に取って読むことはできます。120年記念に合わせ厚真の歴史とご自身の歩みを重ねた自分史などお作りになってみませんか。郷土資料は青少年センター図書室にあります。

青少年センターからのお知らせ

～夜間プラネタリウム投映会～

とき 7月15日(金)午後6時30分
※晴天の場合は引き続き天文台で観望会を実施します。(当日は、土星・火星・月等を観察できます。)

ところ 青少年センター
プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

～ホログラフィー展～

実際には何もないのに、そこに物体が浮かび上がっているように見える…。光の不思議に出会いに来てください。

とき 7月23日(土)～8月16日(日)

ところ 青少年センター2階ギャラリー

～世界の昆虫展～

夏休み恒例の「世界の昆虫展」を今年も青少年センターで開催します。厚真町や北海道内で見られる昆虫から、遠く熱帯の国々に生息する昆虫まで、世界の昆虫標本を展示します。

とき 7月23日(土)～8月16日(火)
午前9時から午後5時まで
(火・木は午後7時まで)

ところ 青少年センター2階ホール

このコーナーへのお問い合わせは…

教育委員会 社会教育グループ

TEL 27-2495

までお願いします。



新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『エミリの小さな包丁』

森沢 明夫/著



恋人にだまされて、家、仕事、貯金を失ったエミリさんは、南房総のおじいさんの家でお世話になります。そこできちんと生活をしていくうちに、いつの間にか癒されている…お話です。

- ・料理番に夏疾風 小早川 涼/著
- ・向田理髪店 奥田 英朗/著
- ・掬上今日子の婚姻届 西尾 維新/著
- ・秋霜 葉室 麟/著

児童書

『ハーネスを外して』

辻 恵子/著



盲導犬として働く期間は約10年と言われます。働き終わった後、盲導犬はどうやって過ごすのでしょうか。人間のために働いてくれた犬にゆっくり過ごしてほしいとの思いで誕生した老犬ホームのお話です。

- ・ズートピア 小説版・絵本版
- ・五年霊組こわいもの係 床丸 迷人/作
- ・黒猫さんとメガネくんの学園祭 秋木 真/作

実用書

『「名前が出ない」がピタッとなくなる覚え方』

中川 李枝子/著



ソチオリンピックで銀メダルを獲得した旭川出身のスノーボーダーの名前覚えていますか？顔を思い出しても名前が出てこない。メカニズムを知って覚える時の工夫をしてみましょう。

- ・Q&A火山噴火127の疑問 日本火山学会/編
- ・ロードバイクで旅する本 エイムック/編
- ・北海道 親子で行きたいファミリーキャンプ場完全ガイド
- ・おかずケーキ あまこ ようこ/著

絵本

『もりのやきゅうちーむ ふぁいたーず』

北海道日本ハムファイターズ選手会



ひぐまのびーくんがやきゅうちーむになかまいりしました。ゴリラやキリンみたいにかつやくできるかな。ファイターズの選手が、動物になりました。どの選手がどの動物かわかるかな？

- ・このあとどうしちやおう ヨシタケシンスケ/作
- ・ねこどけい きしだえりこ/作
- ・だーれのは？ 新井 洋行/作

～図書室からのお知らせ～

■7月の休館日
18日（海の日）

■青少年センター図書室開館時間
午前9時から午後5時（月・水・金・土・日）
午前9時から午後7時（火・木）

■厚南会館図書室
午前9時から午後5時（月～日）
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■7月の移動図書
上厚真小学校
午前10時10分～25分
8、15、22日【金】

ともいき荘
20日【水】 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子
場所：青少年センター 絵本コーナー
28日【木】 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

先日開催された小学校の運動会を見に行ってきました。晴天のもと、勝っても負けても最後まであきらめず走り抜いた子どもたち。きっとたくさん練習したんだろうな、ということが伝わりとても感動しました。学校やまちの行事は、放課後の時間とはまた違った子どもたちの一面が見られる貴重な機会です。頑張る子どもたちに元気をもらいました。

新1年生の参加が始まって1か月が過ぎました。すっかり活動にもなじみ、2・3年生に負けず、元気に体育館やグラウンドを駆け回っています。5月後半のプログラムでは、ジャムを使って味付けをしたクリームをくるんだクレープづくりや、外でケイドロや缶けりをしたり、身近な自然に触れるプログラムを行いました。クレープづくりは、子どもたちからのリクエストで企画したプログラムです。イチゴやブルーベリーなどのジャムの中で、一番人気はハスカップ。さすが厚真っ子です。今回は地元産の土居ハスカップ農園さんのジャムを使用しました。ボウルについたジャムまできれいにペロリと平らげる様子が、とても可愛らしかったです。5月後半は気温が高い日も多く、外で遊ぶには良い日和でした。かくれんぼとオニごっこを合わせたケイドロや缶けりは、子どもたちにも人気です。缶けりのルールが低学年には少し難しかったようですが、習うより慣れろと何度か繰り返しているうちに少しずつ理解が進んでいきました。自然体験プログラムでは、学校の周りにある木の葉っぱに注目。松の葉のような小さな葉っぱから、天狗のうちのわのようなハリギリの葉っぱまで、大小さまざまな木の葉を集めました。自然の中にある植物をよく見ることで、身近な自然に対する関心や「あれはなんだろう？」と興味を持つ好奇心の芽を育てていきたいと思っています。



6月前半のプログラムでは、放課後ミニ実験と題し、大きなシャボン玉づくりに挑戦しました。昨年も割れにくいシャボン液を手作りして挑んだのですが、なかなか大きなものができませんでした。今年はより強度のあるシャボン液に改良し、シャボン玉をつくる道具もうちわの骨組みを切り外したものを使用しました。結果は見事、リベンジ成功！子どもたちの顔の2倍以上もある大きなシャボン玉をつくることができました。天気や活動時間の関係もあり、なかなか十分な遊び時間を確保できなかったのは残念でしたが、短い時間の中でも子どもたちが喜んで遊んでくれたことが嬉しかったです。

毎月のプログラムをつくる時、思い浮かぶのは子どもたち一人一人の顔です。こんなことをしたら楽しんでくれるかな、今だったらこの活動にもチャレンジできるだろうか、と子どもたちの遊んでいる姿をイメージしながら企画を考えます。そして、想像した通り、みんなが楽しんでくれたら本当に幸せな気持ちになります。子どもたちの「今日も楽しかった」という一言は、私たちスタッフにとっていちばんのご褒美です。さて、来月はどんなことをして子どもたちと遊びましょうか。

